

経営比較分析表（令和5年度決算）

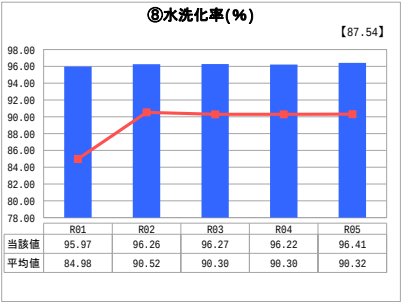
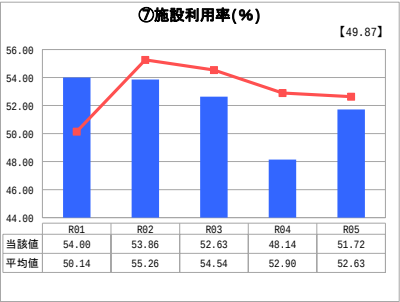
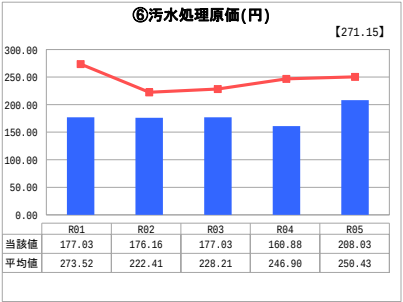
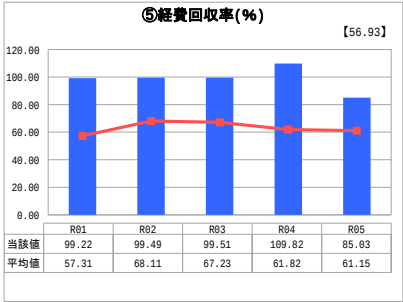
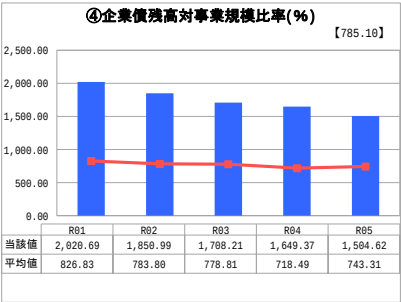
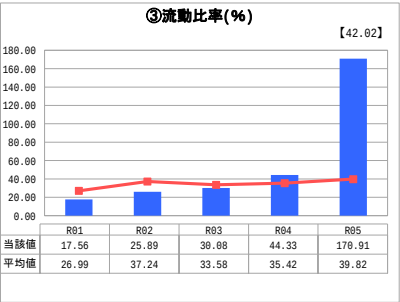
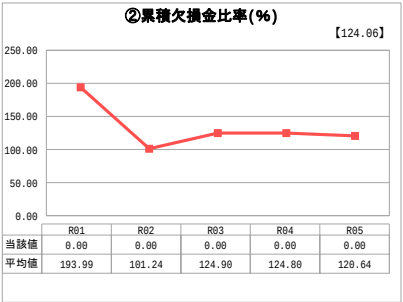
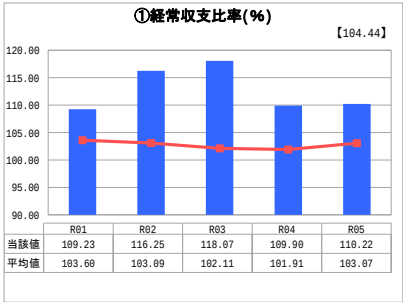
兵庫県 多可町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	62.53	30.11	82.83	3,795

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,966	9.13	2,077.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,689	2.40	2,370.42

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

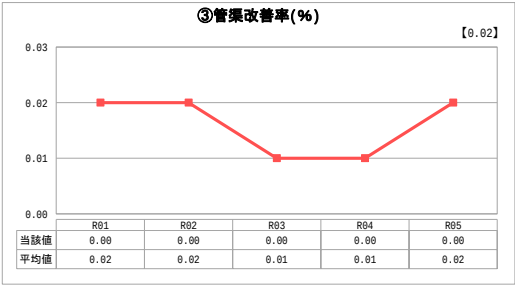
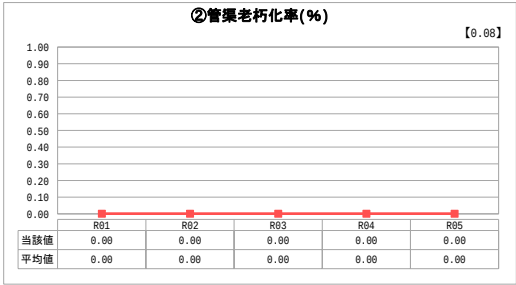
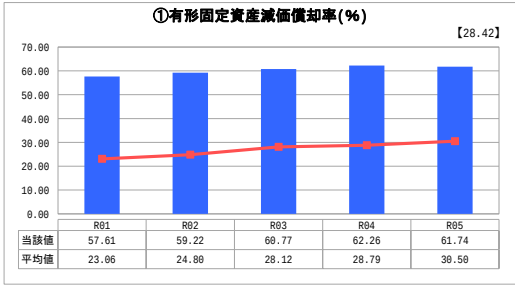
1. 経営の健全性・効率性について

- ・経常収支比率については100%以上となっており、収支は黒字になっている。これは、繰入基準の分
- ・流動比率は100%以上で、短期的な債務に対する返済は改善し、また、企業債残高対事業規模比率
- ・企業債残高対事業規模比率が類似団体と比較して
- ・経費回収率については、分立式下水道等に要する

2. 老朽化の状況について

管渠は、最も古いもので建設から30年経過程度で、直ちに老朽化の問題があるわけではないが、将来の改築更新に係る財源確保に関して考えていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

本事業は、処理人口約6,000人に対し8処理区となっている。このことにより、施設建設の費用に係る地方債借入が多額になったや、小規模処理場であるため維持管理費が割高であることが経営を圧迫している。

また、今後、処理施設や管渠の更新を考慮した中長期的な収支計画を策定し、料金改定の検証を行うことで健全な経営に繋げたい。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。